

としょかんだよい

2019年 8月号 No. 203

亶理町立図書館

〒989-2351 亶理町字西郷140番地

TEL (34)8700 FAX (34)8704



8月に入り、毎日暑い日が続いています。屋外だけでなく、家の中にも、室温や湿度が高いために熱中症になることがあるそうです。室温をチェックし、冷房を入れたり、水分補給をするなどして、暑い夏を乗り切りましょう！

朗読講座 受講生募集

講師にアナウサー・朗読家として活躍している渡辺祥子さんをお迎えし、朗読講座を開催します。相手に語りかけるような“話すように読む”朗読をめざし、基本レッスンを行います。朗読の楽しさを体験してみませんか。

日時/9月4、18日、10月2、16、30日、11月6、20日、12月4、18日
各回水曜日 10時～11時30分(全9回)

会場/悠里館3階視聴覚ホール 募集定員/30名程度(高校生以上、先着順) 受講料/無料

申し込み方法/図書館備え付けの申込書により、郵送・FAX・Eメールで申し込み

申込先・問/ 〒980-0803 仙台市青葉区国分町3-3-7(東京エレクトロンホール宮城内)

(公財)宮城県文化振興財団 朗読講座係

TEL 022-225-8641 FAX 022-223-8728

E-mail kenmin@miyagi-hall.jp



映画会

★ 日 時 8月10日(土) 午後2時～

★ 会 場 悠里館3階視聴覚ホール

入場無料

★ 上映作品 「種まく旅人 夢のつぎ木」(105分)

利用状況 令和元年 6月

●開館日数	...	25日	
●入館者数	...	8,994人	(1日平均 360人)
●貸出利用者数	...	2,985人	(1日平均 119人)
●貸出冊数	...	12,404冊	(1日平均 496冊)
●AVブース利用者	...	441人	(1日平均 18人)



新着案内



『クジラアタマの王様』

画像は使
用できま
せん

いさか こうたろう 著
伊坂 幸太郎 著

／NHK 出版

請求記号

製菓会社に寄せられた1本のクレーム電話。広報部員・岸はその事後対応をすればよい…はずだった。だが訪ねてきた男の存在によって、岸の日常は思いもよらない事態へと一気に加速し…。書き下ろし長篇小説。

『店長がバカすぎて』

画像は使
用できま
せん

はやみ かずまさ 著
早見 和真 著

／角川春樹事務所

請求記号

谷原京子、契約社員、時給998円。店長が、小説家が、弊社の社長が、営業がバカすぎて「マジ辞めてやる!」でも、でも…。本を愛する書店員の物語。

『へぼ侍』

画像は使
用できま
せん

さかがみ いすみ 著
坂上 泉 著

／文藝春秋

請求記号

明治維新で没落した大阪の与力の跡取り鍊一郎は「へぼ侍」と揶揄されていた。1877年、西南戦争が勃発すると官軍は元士族を「壯兵」として徴募。仕官の道が開けると考えた鍊一郎は意気込んでそれに参加するが…。

『龍の袖』

画像は使
用できま
せん

ふじわら ひさこ 著
藤原 緋沙子 著

／徳間書店

請求記号

北辰一刀流千葉道場の娘・佐那は、16歳の時、龍馬と出会う。惹かれ合うふたりを時代の波が引き裂いた。そして39年後。佐那のところへ板垣退助の紹介という男が現れ…。坂本龍馬を生涯想い続けた女、千葉佐那の人生を描く。

・決断 会社辞めるか辞めないか

成毛 眞 著 中央公論新社

・平成史全記録 毎日新聞出版平成史編集室 編

毎日新聞出版

・二十歳(ハタチ)のとき、何をしていたか?

マガジンハウス

・2000万円もってないオレたちはどう生きるか

岡 久 著 自由国民社

・ひとりで暮らす、ひとりを支える

高橋 絵里香 著 青土社

・もっと知りたい動物園と水族館

小宮 輝之 著 メディアパル

・うちの香草育てる食べる

大田垣 晴子 著 KADOKAWA

・墨でモノトーン雑貨

小川 翔月 著 マール社

・ゆるくてカッコいい手作りキャンプギア

主婦と生活社

・eスポーツのすべてがわかる本

黒川 文雄 著 日本実業出版社

・スパイスのまほう

印度カレー子 著 秀和システム

・凍ったまますぐ使える1人分冷凍パック

村上 祥子 著 大和書房



山の本



8月11日は山の日です。山の日は、「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」ことを趣旨としています。実際に登山をする人が読む本、登山はしないけれど読んで山登りをした気持ちになりたい人・・・いろいろな「山」を集めました。この機会にぜひ、ご覧ください。

< 一般書 >

- 『黒部の山賊 アルプスの怪』 伊藤 正一／著 山と溪谷社 291イ
- 『山怪』 田中 康弘／著 山と溪谷社 388タ
- 『登山者のためのお天気学』 城所 邦夫／著 山と溪谷社 451キ
- 『野口健が見た世界』 野口 健／写真・文 集英社インターナショナル 748ノ
- 『赤ちゃんから始めました親子登山』 新井 和也・新井 千鶴／著 東京新聞 786ア
- 『一生ものの、山道具』 ホシガラス山岳会／著 パイインターナショナル 786イ
- 『植村直己と山で一泊』 植村 直己／述 小学館 786ウ
- 『裏の山にいます』 遠藤 ケイ／著 山と溪谷社 786エ
- 『未完の巡礼』 神長 幹雄／著 山と溪谷社 786カ
- 『日本女性登山史』 坂倉 登喜子・梅野 淑子／著 大月書店 786サ
- 『あした、山へ行こう!』 鈴木 みき／著 講談社 786ス
- 『山登り語辞典』 鈴木 みき／著 誠文堂新光社 786ス
- 『人生、山あり時々谷あり』 田部井 淳子／著 潮出版社 786タ
- 『のんびり山に陽はのぼる』 中村 みつを／著 山と溪谷社 786ナ
- 『ドキュメント単独行遭難』 羽根田 治／著 山と溪谷社 786ハ
- 『バテない体をつくる登山食』 大森 義彦／監修 誠文堂新光社 786バ
- 『散歩の気分で山歩き』 平野 恵理子／著 山と溪谷社 786ヒ

< 小説・エッセイ >

- 『神坐す山の物語』 浅田 次郎／著 双葉社 ア
- 『氷山の南』 池澤 夏樹／著 文藝春秋 イ
- 『姥捨て山繁盛記』 太田 俊明／著 日本経済新聞出版社 オ
- 『椿山』 乙川 優三郎／著 文芸春秋 オ
- 『八月の六日間』 北村 薫／著 KADOKAWA キ
- 『怪訝山』 小池 昌代／著 講談社 コ
- 『遠き山に日は落ちて』 佐伯 一麦／著 集英社 サ
- 『春を背負って』 笹本 稜平／著 文藝春秋 サ
- 『未踏峰』 笹本 稜平／著 祥伝社 サ
- 『凍』 沢木 耕太郎／著 新潮社 サ
- 『灰色の北壁』 真保 裕一／著 講談社 シ
- 『ぐるぐる登山』 高橋 陽子／著 中央公論新社 タ
- 『山女日記』 湊 かなえ／著 幻冬舎 ミ
- 『新版劔岳 点の記』 山本 甲士／文・新田 次郎／原作 文藝春秋 ヤ
- 『淳子のてっぺん』 唯川 恵／著 幻冬舎 ユ
- 『クライマーズ・ハイ』 横山 秀夫／著 文芸春秋 ヨ
- 『もう登らない山』 串田 孫一／著 恒文社 914ク

☆悠里館ギャラリー☆

写真展「わたりの散歩道展」
 展示期間：8月1日（木）～29日（木）

★悠里館ギャラリーとは、悠里館と巨理駅を結ぶ連絡橋にある展示スペースです。

📖 決定！第161回 芥川・直木賞 📖

7月17日に行われました選考会において、芥川・直木各受賞作が決まりました。この機会に、読んでみませんか。貸出中の場合は、予約サービスをご利用ください。

芥川賞受賞作

【むらさきのスカートの女】

今村 夏子 著 朝日新聞出版

近所に住む「むらさきのスカートの女」が気になる<わたし>。自分と同じ職場で働くよう彼女を誘導し、その生活を観察し続け…。狂気と紙一重の滑稽さ。<わたし>が望むものとは？

直木賞受賞作

【渦 妹背山婦女庭訓魂結び】

大島 真寿美 著 文藝春秋

江戸時代、芝居小屋が立ち並ぶ大坂道頓堀。虚実の渦を作り出した、もう一人の近松がいた…。浄瑠璃作者・近松半二の生涯を描いた、著者初の時代小説。



としかんカレンダー 8月



日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3 ぼっぼ ☆
4	5 休館日	6	7 ☆	8 ぼっぼ ☆	9	10 映画会
11 休館日	12 休館日	13	14 ☆	15	16	17
18	19 休館日	20	21 ☆	22 ぼっぼ ☆	23	24
25	26 休館日	27	28 ☆	29	30 休館日	31

☆おはなし会 …こども読書コーナーで、絵本や紙芝居の読み聞かせをしています。
 スタンプが10個になると、素敵なプレゼントがもらえますよ。
 水曜日：午後3時30分～ / 木・土曜日：午前11時～

★お 願 い …マイバック持参にご協力ください。